

## 安全運転講習(実技編)

(株)木のくに屋  
本西 宏行

世には、車好き(運転好き)という方が沢山いらっしゃると思います。  
そして「自分は、他人より運転が上手い」と自負されていませんか？  
果たして、それは本当でしょうか…。

皆さんは覚えていらっしゃいますか？

湾岸線での、高性能なスポーツカーによる追突事故。

ドライブ中のご夫婦2名が巻き込まれてお亡くなりになりました。

巷では「無謀な運転」と批判の声が上がっていましたが、プロのレーシングドライバーの間では「経験不足に伴う認識不足&技量不足」と言われています。

では、本題の安全運転講習のお話。

東京木材問屋組合でも交通安全週間の際には、座学としての安全運転講習会を開催しておりますが…  
さて実技となると？

皆さんも、運転免許証を取得する際には教習所に通ったことと思いますが、取得後も技量向上の目的で、教習を受ける方は少ないと思います。

かく言う私も、18歳で免許を取得してから10年以上そのような機会は無く学生時代から競技ライセンスを取得して、モータースポーツを趣味としても楽しんでいましたので、まさしく「自分は、他人より運転が上手い」と自惚れていたクチです。

その自惚れが見事に砕け散ったきっかけが、自動車メーカーが主催する安全運転講習(実技編)。

高性能なスポーツカーを発売したものの、その事故率の高さにメーカーも危機感を募らせたそうで、設計開発者曰く

「スポーツカーオーナーの技量が、こんなに下手とは思わなかった！」

と、座学では辛辣なお言葉を頂戴しました。

バブル期に踊らされて、普段は高級セダンに乗っている人々がセカンドカーに、と高性能なスポーツカーに乗れば当然です。

アクセルを踏めば、誰でもアツという間に200Km/h以上の世界へ…

ただ、そこからフルブレーキングで制動を掛けた経験はなく…

エンジンが後ろに載った車などの限界域での挙動は知らず…

だって教習所では「急ハンドル&急ブレーキは危険ですからダメです」

と、教わりましたから！

スポーツカーは幅広いタイヤを履いていますが、雨の高速道路で100Km/h以上では浮き上がって、あらゆる方向へ飛んで行くことなんて知りませんよね。

さて、具体的な講習内容ですが

1. 座学(開発者&レーシングドライバー)
2. 場内教習(高速域からのフル制動・低摩擦路面体験・スピン回避訓練)
3. 広場教習(限界域での挙動体験)
4. レーシングコース(走る・曲がる・止まるの基本操作)



高速フル制動



低摩擦路面体験



スピン回避訓練



ハイブリット車での燃費教習

決して、レーシングスクールではありません！

自動車メーカーが主催する講習会ですから、基本的な運転技術の向上を目指したプログラムです。

講師は現役のプロレーサーの方々。(息子より若い…)

講習参加者の感想は一律に(私を含めて…)

「こんなに自分が、運転が下手だったとは…」

と、思い知らされた様です。



限界域での挙動体験

このような講習プログラムは、色々な自動車メーカー（外車でも）が開催しています。（きっと、あなたの愛車のメーカーも開催しています）

それとは別に、交通教育の専用施設でも一般向けに開催されています。

初級→中級→上級と技量に応じたコースが多数設定されており、最終はレーシングコースを走るコースまで有ります。



レーシングコース体験走行

その先にはタイムを縮めることを求めたり、レースに参加されるようになる方々も…

大手運送会社（トラックで）などはセールスドライバーを対象に定期的に。

交通機動隊（パトカー・白バイ）も訓練として参加しています。

一般道でのリスクの高さ（周りは下手ばかり…笑）を知ると、湾岸線での追突事故など考えられません！

高性能スポーツカーで200 km/h以上出すのは簡単ですが（違法ですよ）

自分の車線に法定速度100kmで走る車が出てくると、その時の速度差は100km/h以上。（もし300km/h出してたらなら速度差200km/h）

「高速道路を走行中、前方に大きな石が突然転がってきた！」のと同じ状況。

あなたは速度差分となる100km/h以上(200km/hかも)の速度から何mで止まれますか？

ここで尋ねたのは知識ではなく経験の話です。

ぜひ一度、経験してみてください。

一人だけ周りとは異次元の速度で走る危険性が分かるはずですよネ。

私の経験から、息子が免許を取った際には

すぐに、これらの講習プログラムに参加させました。

「一般道でのリスクの高さ」を知ってもらい

もし飛ばしたいなら「お巡りさんを心配しなくて良い場所で存分に」

との思いからです。(そこでは、もっとアクセル踏み！と叱られます)

そんな息子が高速道路を運転していた際、前方で突然の事故に遭遇。

プログラム訓練を受けていた彼は、フル制動で無事に停車できましたが…

「後ろは、たぶん止まれないだろうナ～」と身構えたそうです。

結局、後続の高級スポーツカー(湾岸線事故と同じメーカー)に追突され、車は全損になってしまいましたが、加害者にはならず済んだようです。

将来、自動運転が普及して法定速度以上に走れなくなる日まで

「経験不足に伴う認識不足&技量不足」による事故は無くならないでしょう。

友人知人がスポーツカーを購入したと聞くと、ついつい講習プログラムにお誘いしてしまいます。

私は今でも、技量維持のため年に数回は受講しておりますので

ご興味がある方は、お声掛け下さい。

一緒にしましょう！



軽自動車での入門レース



12時間耐久レース